

佐同教だより

令和2年度社会人権・同和教育 指導者養成講座開催

今年度の佐賀県教育庁学校教育課人権・同和教育室主催の指導者養成講座が9月1日(火)スタートしました。今年度4月22日から5回の基礎講座と3回の応用講座が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため延期になっていました。

はじめに、今年度約30名の参加者に向けて、人権・同和教育室の熊本久人室長より開会の挨拶がありました。

次に、伊東弘至係長から、養成講座の今後の計画と「人権教育・啓発って何？」

伊東さんからは、人権と差別の関係についての話をきっかけに、同和問題についての今日の課題や課題解決へ向けた社会教育の方向性について話をいただきました。午後からは、桜井高志さん(法貴グローバル教育研究所代表)に「参加型人権学習の実際とその背景」『西洋型』の人権と市民社会の形成」の演題で、ワークショップ

プを取り入れながら、研修が進められました。特に3つのキーワード(①「2つの人権(日本型と西洋型)」②「やさしい人権」③「権利と義務」)について、これまでの認識を見直す視点や提案があり、参加者は、意欲的にワークショップを楽しみながら研修を受講できました。

講座は、10月15日まで5回の講座が行われ、各市町の人権教育推進担当者の方が地域での人権啓発に向けて取組が進むように、考えられた研修が組まれていました。



養成講座(9/1)



理事研修会(9/1)

2020年度佐賀県人権・同和 教育研究協議会 第2回理事研修会開催報告

メイトプラザ佐賀多目的ホールにおいて、佐同教理事会が開催されました。第1回理

佐賀県人権・同和教育研究協議会

住所 佐賀市大和町大字川上 佐賀県教育センター 中研修室棟内

TEL 0952(62)6434 FAX 0952(62)6435

事会(5月8日中止に代わり、幹事会・事務局研修会に変更し開催)が、中止だったため実質的に第1回目の理事会となりました。理事会は、佐同教総会に次ぐ決議機関です。佐同教の役員をはじめ社会教育と学校教育の責任者(64名)に集合していただき、議事を行いました。

はじめに、理事の役割について確認をした後、2020年度8月31日までの活動報告と今年度の主要行事について野田事務局長が報告しました。

議事については、2020年度の事業並びに予算の修正案の説明がありました。今年度は事業計画の修正に伴い予算の修正を提案しました。その中でできる限りの事業とその充実を図る予算について論議していただきました。

さらに、2021年度の主要行事の提案がなされ、承認されました。後半には、2021年度第50回佐賀県人権・同和教育研究大会について協議しました。今年度開催予定の大会が、次年度に延期せざるを得ない中で、50回大会を記念すべき充実したものにすることを確認して第2回理事会を終えました。

社会教育：市町の取組の紹介

多久市人権・同和対策課
からの報告

多久市では、新型コロナウイルス感染防止のため、行事や研修の見直しを行いました。

市民を対象にした人権・同和教育講座「心のセミナー」は、今年は第1回(6月)・第2回(7月)は、中止にしました。9月からは、会場を大ホールに変更して、人数を制限して実施しています。

8月の「同和問題啓発強調月間」では、職員研修、街頭キャンペーン、企業訪問、市報の同和問題特集、庁用車への啓発マグネットシートの貼付などを行い、啓発強調月間の周知と同和問題への理解を深めることが出来たと考えます。パネル展は、今年2か所で行い、DVD上映も行いました。多久市同和問題講演会は、3密を避けるため人数制限の上、実施しました。講師は落語家の林家染二さんが「笑いと情けが人の輪をひろげる」と題して講話と落語を行いました。

3年めを迎える「地区座談会」は、今年は、9月から開始しました。DVD「あな

たに伝えたいこと」を視聴したあと、現在でも「同和問題」があり、「部落差別解消推進法」が施行されたことを共有しました。これからも区長さんとの話し合いを進め、取り組んでいきます。



落語家の林家染二さん

佐賀市の人権教育・啓発
の取組

「とともに生きる」

皆さんは [] の中に、どんな言葉が入りますか？

連れ合い、子ども、親、友だち、ペット。大切にしている物や趣味など様々です。

これまで佐賀市では講演会や上映会、街頭啓発を通して、様々な人権課題の解消に

向けた教育・啓発を推進してきました。それぞれの課題の歴史的な経緯や当事者の思いにふれながら、関心をもつこと、関わりのある人々と共に生きることの必要性を伝えてきました。

現在、新型コロナウイルス感染症を予防するための新しい生活様式が求められており、 [] の中に「コロナウイルス」の7文字も入る状況です。その中で、研修会等が中止になったり、参加者の人数制限があったりして学ぶ機会や人権問題に触れる機会が減ってきています。

そこで、佐賀市では新たな取組の一つとして、市民の皆さんに人権問題に関心を持つてもらうため「人権だより」を発行(年4回予定)することにしました。これまで感染症の拡大に伴う人権問題や外国人の人権問題、同和問題を取り上げています。

今後も市民の人権意識の高揚に努めながら、「『とともに生きる』ものは何であるか」を考え、感じて、見つけてもらえるように、人権教育・啓発を推進していきます。改めて皆さんに伺います。

[] の中に、どんな言葉を思い浮かべますか？

「佐賀市人権だより」はこちら↓



高同研・地区同研の取組の紹介

高同研からの活動報告 人権学習・進路保障ホームルーム

10月2日(金)に佐賀西高校にて、佐城区の学校の人権・同和教育担当者及び社会教育担当者を対象にした「人権学習・進路保障ホームルーム」の公開授業がありました。新型コロナウイルス感染症予防のため、人数を絞って公開授業と授業検討会を行いました。

1年生は「話してくれてありがとう(部落問題)」、2年生は「インターネットと人権問題について考えよう(メディアリテラシー教育)」、3年生は「統一用紙の精神に学ぼう(進路保障)」の指導案に基づいて授業が行われました。特に、2年生では現在課題である「人権・同和教育の視点から見たメディアリテラシー教育」をテーマに、自分の中の偏見に気付くこと、ブログや質問サイトの書き込みなどを例に情報を扱う上で大切なこと(客観的事実と印象の見極め方)、インターネットの落とし穴(エコーチェンバーやフィルターバブルなど)が取り扱われました。生徒の感想には「当然デマや過激な情報を流す人たちも問題である

が、それよりも重大な問題はそれらの情報に簡単に流されてしまうような周りの人々だと思う。」「アンチコメントによって芸能人が傷つけられ死に追い詰められることなど、ネットを使うときの意識をまず変えなければならぬ。」などの気づきがありました。

指導案等、ご希望の方は高同研事務局(佐賀西高校原口さん)まで、ご連絡ください。

※高同研とは、佐賀県立高等学校及び特別支援学校人権・同和教育研究会の略称です。



佐賀西高校2年生の授業風景

杵島武雄地区人権・同和教育

研究会からの活動報告

今年度は、杵武地区同研でも新型コロナウイルス

ウィルスの影響を受け、総会や夏期講座、研修会などの事業計画を見直しました。参加人数や開催時間、会場の広さ等を考慮しながら取り組みを進めています。

総会では、他の同研と同様「書面表決」で諸議案を議決しました。

また、年度当初に予定した人権・同和教育担当者研修会を中止しました。しかし、初めて担当を任された方や、例年と違う状況の中でどのように校内で推進したらよいか不安に思われている方が多いという声がありました。そこで、31校を3つに分けて分散研修会を開催し、人権・同和教育の成果や課題、担当者としての役割、各学校での情報・意見交換などを行いました。さらに、毎年6月に小六中社研(※略称)を開催していましたが、人数を制限し、小学校の実情を考え、「小学校6年生担当者研修会」に変え、実施しました。講師は、県教育センターの松本英将さんに依頼して「小学校における人権・部落問題学習」について、講話をしていただきました。具体的な実践資料を用いられ、部落差別の問題や課題をわかりやすく説明され、参加者にとってもよい学びになりました。

今後も地区同研として、このコロナ禍でもできる人権・同和教育の推進に努めていきたいと思えます。

※小学校6年生担任及び中学校社会科担当人権・同和教育研修会のこと

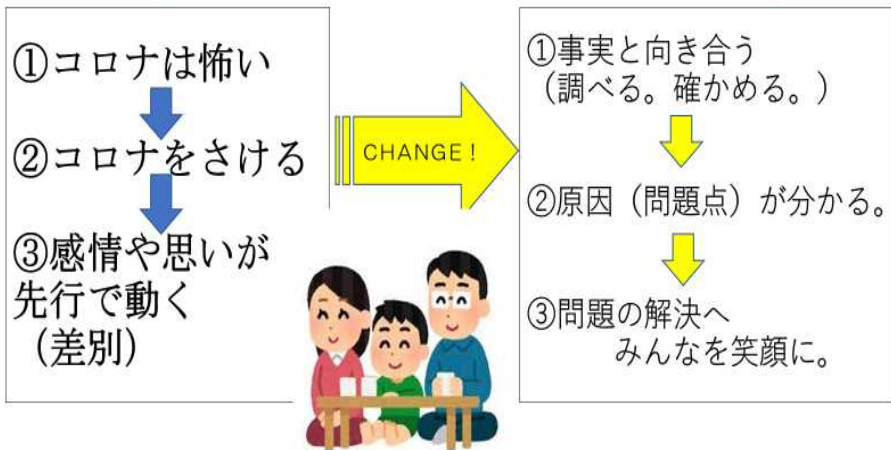
「ソーシャルディスタンス」の意味を問い直してみよう！

新型コロナウイルス感染症対策の中で当初より、「人との距離をとる」という意味で「ソーシャルディスタンス」という言葉が使われ、最初は聞き慣れなかった言葉も次第に定着してきました。言葉の持つ意味を深く考えることなく使ってきましたが、インドでは、「ソーシャルディスタンス」という言葉は、「ケガレから距離をとる」また、「不可触民と距離をとる」という差別するために使用されてきた歴史的経緯があるとの指摘があり、人権問題を考えるいろいろな団体から、使用についての問題提起がなされています。

各県の人権団体でも、「ソーシャルディスタンス」という言葉は使用せずに「人との距離の確保」「適切な距離を保つ」または、「3密を避ける」などの日本語での理解しやすい言葉にする取組が始まっています。

佐同教でも、「他の言葉と置き換える配

合言葉は、コロナでチェンジ！



慮」の必要性を呼びかけていきたいと思っ
ます。

※左の図は、佐同教のコロナウイルス
の学習資料から引用しました。

い。佐同教ホームページも活用くださ
い。閲覧数が増えてきました。

2021年度（来年度）の主な行事		
行 事 名	日 時 ・ 場 所	参加・資料代
佐賀県人権・同和教育研究協議会 第52回総会並びに研修会	5月14日（金）13:30 佐賀市文化会館大ホール	無 料
第50回佐賀県人権・同和教育研究大会 （全体会）	8月5日（木）14:00 武雄市文化会館	8 0 0 円
第50回佐賀県人権・同和教育研究大会 （分科会）	10月19日（火）9:30 神崎市・吉野ヶ里町・上 峰町	1 5 0 0 円
佐賀県人権保育研究集会	10月24日（日）9:00 佐賀市内	5 0 0 円
実践交流会Ⅰ	11月19日（金）13:30 場所未定	5 0 0 円
実践交流会Ⅱ	1月18日（火）13:30 場所未定	5 0 0 円

* 開催時刻については、変動することがあります。